

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標 4 豊かなひとを育むまち

学校教育

- ① 学校教育
- ② 学校づくり
- ③ 高等学校、高等教育

社会教育

- ① 生涯学習
- ② 社会教育

文化

- ① 芸術文化
- ② 文化財保護

スポーツ

- ① スポーツ

交流

- ① 国際交流、地域間交流



学校教育

① 学校教育

現状と課題

社会がどのように変化しようとも、子どもたちが自らの夢や希望に向かって生きていくためには、子どもたちが自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、そして、たくましく生きていくための健康や体力などの「生きる力」をバランスよく育てていくことが重要です。

そのためには、子どもたちの発達段階に応じた、幼児期から円滑につながる学校教育の展開と、教育内容の充実が求められています。

基本方針

子どもたち一人ひとりの夢を大切にしながら、明日を拓く「生きる力」を育みます。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①幼児期に身につけるべき基礎を育む	▪ 幼児教育の総合的な推進
②生きていく力を育む	▪ 基礎的、基本的な学力の定着促進 ▪ きめ細かな学習指導の充実 ▪ 特別支援教育の充実 ▪ 国際理解、外国語教育の充実 ▪ キャリア教育、主権者教育の充実 ▪ 情報教育の充実 ▪ コミュニケーション能力の育成
③豊かな心や地域を愛する心を育む	▪ 道徳教育の充実 ▪ 読書活動の推進 ▪ ふるさと教育の推進、伝統や文化に関する教育の充実 ▪ 地域活動の理解促進、環境教育の充実
④健康で元気に生活できる体を育む	▪ 健康管理、保健教育の推進 ▪ 体力向上の推進 ▪ 学校給食の充実 ▪ 地域に根ざした食育の推進 ▪ 望ましい生活習慣を確立する教育の充実 ▪ 防災・安全教育の充実

関連する個別計画

- 網走市学校教育計画

キャリア教育 — 社会人・職業人として自立するために必要な能力や態度、意欲を形成、向上させるための教育

学校教育

② 学校づくり

現状と課題

学校教育のさらなる充実を図るためには、家庭や地域等との連携・協力や、さまざまな学校間における連携・交流を進めていくことが重要となっています。

地域全体で子どもたちを守り育てる教育環境づくりを推進するとともに、子どもたちの学びの機会を充実しながら、子どもたちが楽しく学び、活気があふれる「地域と共にある、より魅力と信頼のある学校」を目指すことが求められています。

また、社会環境や生活様式の変化など、子どもたちを取り巻く環境の変化により生じる不登校やいじめなどの課題に対しては、全ての子どもたちが元気に楽しく学校生活が送れるよう、一人ひとりを大切にする相談体制や指導の充実が求められています。

基本方針

地域全体で子どもたちを守り育てる学校づくりを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①支援が必要な子どもに対する教育体制の整備	▪ 特別支援教育体制の充実 ▪ 問題や悩みを抱える子どもに対する相談体制の充実 ▪ いじめ、不登校対策の充実 ▪ 適応指導体制の充実
②地域と共に築く学校づくりのための支援体制の整備	▪ 教職員の資質向上 ▪ 地域と共にある学校づくりの推進 ▪ 学校、家庭、地域が一体となった取り組みの推進 ▪ コミュニティ・スクールの推進
③子どもの学びを支える特色ある教育環境の整備	▪ 特色ある学校づくりの推進 ▪ 安全・安心な教育環境の整備、充実 ▪ 教材、教具の整備、充実 ▪ ICT 教育環境の整備促進 ▪ スクールバス運行の充実 ▪ 東京農業大学、日本体育大学と連携した教育活動の推進 ▪ 就学支援制度の充実

関連する個別計画

- 網走市学校教育計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

学校教育

③ 高等学校・高等教育

現状と課題

少子高齢化・人口減少の進展により、高等学校・高等教育機関における生徒数・学生数の減少が懸念されます。

高等学校では、それぞれ特色ある教育が進められている中で、高校生による、地域に根ざした、地域に開かれた活動も活発化しています。

高校生による、まちづくりに参加する主体的な活動の推進や支援を通じた魅力ある学校づくりが求められています。

高等教育機関では、人材育成・交流、学術研究、産業や文化の振興など、果たす役割は多様化し、ますます重要なものとなっています。

地域とのさまざまな連携・協力体制の拡充、共同研究や委託研究などをより一層進め、学びを活かす地域の確立が重要となっています。

基本方針

高校生や大学生のまちづくりに参加する主体的な活動の推進と地域とのさまざまな連携を深め、「学びを活かす」まちづくりを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①高等学校の充実	- 多様な教育機会の充実と連携強化 - 定時制高校の支援 - 高等支援学校の振興
②大学など高等教育の充実	- 高等教育機関の振興と連携強化 - 地域に開かれた大学の振興 - 大学との連携事業の推進
③就学の支援	奨学金貸付制度の充実

関連する個別計画

- 網走市学校教育計画

社会教育

① 生涯学習

現状と課題

急速な ICT の進展、グローバル化などは、ライフスタイルや価値観の変化につながり、生涯学習に対するニーズも多様化、高度化しています。

さまざまなニーズへ対応した学習機会を提供するためには、そのニーズを的確に把握するとともに、行政のみならず多様な担い手による学習機会の提供に取り組むことが重要です。

また、一人でも多くの方が、自ら学び、人生を楽しく豊かにするためには、さまざまな学習機会や、きっかけづくりの提供が大切であり、その学びを社会に還元できる環境の整備が求められています。

基本方針

自ら学び、豊かな人を育む、教育と文化のまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①生涯学習を支える場の提供と学習環境の整備	- 生涯学習を推進する組織運営の充実 - 学習意欲を高める機会の充実 - 多様な学習内容と学習方法の提供 - 団体・サークル活動支援の推進
②連携による学習機会の充実	- 大学や教育機関と連携した多様な学習機会の提供 - 市民参画による学習機会の充実
③学習情報の収集、提供、相談事業の充実	- 学習に対するニーズの把握・情報収集 - 多様な媒体による学習情報の提供 - 学習相談体制の充実
④図書館機能の充実	- 魅力ある図書資料の選定と情報発信 - 課題解決を支援する図書館サービスの充実 - 分庫の整備、充実 - 図書館の利用促進活動の強化 - ボランティアの育成、活動支援と連携 - 読書活動の支援、推進
⑤博物館機能の充実	- 常設展、企画展の充実 - 郷土の歴史、自然資料などの調査、収集 - 郷土の歴史と自然に関する教育普及活動の推進

関連する個別計画

● 網走市社会教育長期計画

● あばしり子ども読書プラン

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

社会教育

② 社会教育

現状と課題

単身世帯や高齢者世帯が増加する中、地域社会とのつながりが希薄化し、地域に対する関心が低下しています。こうした中、地域住民の学びあい、教えあいを通じて、人と人との絆を深めるとともに、多様な学習活動を通じて、一人ひとりが当事者意識を持って行動するために必要な知識や技術を習得し、学習活動の成果を地域づくりにつなげることが重要となっています。

また、さまざまなニーズに即した学習機会の提供を図るために、多様な主体による、幅広い学習活動の場や機会の創出が求められています。

基本方針

自主的な学習活動を地域づくりにつなげ、人と人との交流を生むまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①社会教育を進める体制や環境の整備	▪ 多種多様な学習機会の提供 ▪ 家庭教育支援の充実 ▪ 社会の変化や多様なニーズに応じた学習環境の整備 ▪ 関係機関等との連携による教育体制の整備 ▪ 社会教育を推進する組織運営の充実
②子どものための学習や体験の場の提供	▪ 豊かな心を育む学習機会の提供 ▪ 子どもの心身の健康づくりの推進 ▪ 子どもの自由時間の充実のための環境づくり
③学習活動を行う団体や指導者の育成	▪ 社会教育関係団体の育成と支援 ▪ 学習活動を行う指導者の育成 ▪ 青年層をはじめ市民団体の育成
④学習成果を還元する機会の充実	▪ 学習成果を活かし活動できる機会の充実
⑤公民館機能の充実	▪ オホーツク・文化交流センターの機能充実 ▪ 市民会館の適正な維持管理 ▪ コミュニティセンター機能との連携 ▪ まちづくりのための学習機会の提供 ▪ ニーズに応じた学習機会の提供
⑥社会体育活動の充実	▪ ライフステージに応じた社会体育活動の推進 ▪ 総合型地域スポーツクラブの育成、推進 ▪ 指導者の育成、確保 ▪ 体力増進活動の推進

関連する個別計画

- 網走市社会教育長期計画

ライフステージ -- 年齢にともなって変化する生活段階

文 化

① 芸術文化

現状と課題

芸術文化は、ひとの暮らしに喜びや感動を与え、心に豊かさをもたらします。鑑賞機会や学習機会の提供のほか、自主的な芸術文化活動を支援することで、地域に対する愛着や誇りを育むことが重要です。

また、より多くの方が芸術文化に触れる機会を創出することや、芸術文化に関わる人、団体との地域交流を深め、まちの新たな魅力につなげることが求められています。

基本方針

芸術文化を通じて豊かな人間性を育むとともに、文化を大切にすまちなちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①地域文化の継承	- 郷土芸能の保存支援 - 郷土の歴史・文化遺産の継承と新しい創造活動支援
②芸術文化活動の促進	- 発表活動の支援と発表機会の提供 - 芸術文化事業の充実 - 芸術文化団体の育成
③鑑賞機会の拡大	- 舞台芸術鑑賞機会の充実 - 学校と連携した芸術鑑賞機会の充実 - 創作活動を鑑賞する機会の充実
④美術館機能の充実	- 常設展、企画展、特別企画展の充実 - 収蔵作品の管理 - 美術体験講座の開催
⑤芸術文化合宿の誘致	芸術文化合宿の誘致促進

関連する個別計画

- 網走市社会教育長期計画

目標 1

一人ひとりを大切にす
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

文化

② 文化財保護

現状と課題

網走市には、国重要文化財2件（旧網走監獄、旧二見ヶ岡農場）、国指定文化財3件（史跡桂ヶ岡砦跡、史跡最寄貝塚、名勝天都山）、国登録有形文化財6件（博物館網走監獄哨舎5件、独居房1件）、市指定文化財4件（永専寺山門、網走神社絵馬、鱒浦稻荷神社絵馬、ポンモイ柱状節理）の貴重な文化財があります。

地域に残る独特な文化財は、適切に保護し、まちの誇りとして、次代に引き継ぐことが重要です。

また、市民にその価値と魅力を周知し、歴史や自然を学ぶ機会を提供するとともに国内外にも広く発信し、観光資源としての活用も図りながら、歴史文化を活かしたまちづくりが求められています。

基本方針

網走の文化財の理解を深め、後世に継承するとともに、歴史文化を活かしたまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①文化財の調査および保護	■ 埋蔵文化財の調査、保護 ■ 文化財の調査、保護 ■ 文化財に関する研究
②文化財に対する理解の促進	■ 文化財保護のための学習機会の充実

関連する個別計画

- 網走市社会教育長期計画

目標1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標4

豊かなひとを育むまち

目標5

ともに歩み、
築く協働のまち

スポーツ

① スポーツ

現状と課題

スポーツの果たす役割は多岐にわたります。青少年の健全な育成、健康の維持、地域の人々の主体的な協働の取り組み、地域の活力などさまざまであり、年齢や性別、障がいの有無を問わずスポーツに取り組むことのできる体制や環境づくりが重要となっています。

人口減少・少子高齢化社会を見据え、既存のスポーツ団体はもとより、企業、高校、大学など関係団体と多様な連携を図りながら、生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境の提供が求められています。

また、本市の強みであるスポーツ合宿や障がい者スポーツ合宿、大会誘致をより一層進めることで、地域の活性化を図ることが重要となっています。

基本方針

誰もがスポーツに親しみ、心身ともに豊かなひとを育むとともに、スポーツによる交流人口の拡大を図るまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①スポーツ施設の整備、利用促進	▪ スポーツ施設の充実、適正な維持管理 ▪ 学校開放事業の促進
②スポーツ活動の促進	▪ スポーツに関する情報提供の充実 ▪ 各種行事、スポーツイベントの開催 ▪ 競技力向上の支援 ▪ スポーツ団体等との連携、支援
③障がい者スポーツの振興	▪ 障がい者スポーツの普及、啓発、促進 ▪ 障がい者スポーツ指導者の育成 ▪ 障がい者団体との連携
④活動組織や指導者の育成	▪ スポーツ団体等の育成 ▪ 指導体制の充実
⑤スポーツ合宿や大会誘致	▪ スポーツ合宿の誘致促進 ▪ スポーツ大会の誘致促進

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

交流

① 国際交流、地域間交流

現状と課題

国際交流では、姉妹都市としてカナダ・ポートアルバーニ市、友好パートナーシップとして韓国蔚山広域市南区との交流が行われ、国内交流では、友好都市として沖縄県糸満市と神奈川県厚木市、観光物産交流都市として山形県天童市との交流が行われています。

異文化との交流により、ふるさとの文化や歴史の魅力を再認識するとともに、国際的な感覚を持った豊かな人の育成が期待されています。

国際交流、国内交流を通じて、次世代の人材育成とともに地域の活性化を図り、個人、団体など、さまざまな形での交流を深めていくことが求められます。

さらに、交流人口の拡大による地域の活性化が求められており、大会、会議など、さまざまな形で交流機会を創出することが重要となっています。

基本方針

さまざまな国や地域の文化を理解、尊重し、ふるさとの魅力を再認識しながら、ひとが集う交流するまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①海外・国内都市との交流促進	■ 海外の姉妹都市、友好都市等との交流推進 ■ 国内の友好都市等との交流推進 ■ スポーツ交流や研修派遣など市民レベルでの交流機会の推進 ■ 民間事業者主体による経済交流の推進 ■ 経済活動等を通じた国際交流の推進 ■ 東京網走会などふるさと会との連携による交流の促進
②シティプロモーションの推進	■ 移住、定住の促進 ■ 地域の課題に応じたシティプロモーションの推進
③国際化に対応した教育や人材の育成	■ 英会話指導の充実 ■ 国際理解のための学習機会の充実 ■ 外国の文化を理解、体験できる機会の充実 ■ 民間組織・人材の育成、充実
④国際化に対応した環境の充実	■ ユニバーサルデザインの推進 ■ 外国人観光客に対応した環境整備
⑤大会・会議の誘致	■ 各種大会、会議、学会等の誘致による交流機会の拡充

ユニバーサルデザイン ― 年齢、性別、障がいの有無などにかかわらず、誰にでも使いやすいデザイン